

鹿児島県

1. 商品名等

商品名	チーズ餛飩 ^{チー} ズ ^ズ 餛飩 せんだい地〜図		
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)		
 <p style="text-align: center;">商品</p>  <p style="text-align: center;">← パッケージ</p>	<p>本校所在地の薩摩川内市にはPRする商品が少ないということから、地域の菓子店と協力して作成することとなった。薩摩川内市にちなんだお菓子作りをする中で地元に残されるカップ伝説を知り、なぞらえた商品作りができなにか検討し完成した商品である。カップから緑の抹茶、女子高生に好まれるチーズを使用した抹茶チーズ餛飩となった。パッケージデザインについては薩摩川内市の上空から見た形がクジラに見えることからクジラをモチーフにしたものになった。また、ネーミングは地図とチーズを掛け合わせたせんだい地〜図となった。</p>	<p>チーズ餛飩</p> <p>せんだい地〜図</p>  <p>・ガラッパ 薩摩川内市には多くの河童伝説が残されています。ガラッパとは河童のことです。</p> <p>かしの樹 × 川内商工高校</p> 	
<p style="text-align: center;">ラベル ⇨</p>			

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立川内商工高等学校	電 話	0 9 9 6 - 2 5 - 2 5 5 4
住 所	鹿児島県薩摩川内市平佐町 1835	F A X	0 9 9 6 - 2 5 - 1 0 1 8
担 当 者	西村 友美		
U R L	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/sendai-c-t/		
E-mail			

本校は、商業科と工業科（機械科・電気科・インテリア科）を併置した専門高校で、各学科の特色を生かした教育内容で専門的な知識・技術を身につけ、更にいろいろな資格を取得することができます。平成30年度には創立90年を迎える歴史があり、専門的な知識・技術を生かした企業への就職が可能です。全国で多くの卒業生が活躍しているお陰で、全国の大手企業から地元の地場産業まで幅広く、たくさんの求人をしていただき就職しています。

また、四年制大学や短期大学・専門学校等へ進学する生徒も約1/3程おり、国立大学のAO入試での合格や県立短大の合格など、国公立から私立や職業訓練大学校まで更に深い専門的な知識を身につけるため、推薦入学等を利用し希望する学校へ進学しています。専門高校として就職・進学いずれも可能であり幅広い進路選択ができます。

3. 実施科目等

科 目 名	課題研究(商品企画)	単 位 数	4 単位
対 象 生 徒	6 名	担当教員数	1 名

4. 予算関係(費用)

協力企業の負担(一部課題研究費)

5. 開発経緯等

〈テーマ〉

- 1 薩摩川内市をPRできる商品作り
- 2 女子高生をターゲット

〈年間計画〉

- | | | |
|--------|-------------------------|---------------|
| 4月～5月 | ①商品企画のための資料収集 | ②協力企業探しと企業見学 |
| 5月～6月 | ①各自商品企画 | ②各自商品企画の発表と改善 |
| 7月 | ①協力企業へ商品企画の提案 | |
| 8月 | ①協力企業による商品企画案の検討と試作品作成 | |
| 9月～10月 | ①試作品試食と改良 | ②パッケージ等の検討 |
| 10月 | ①文化祭による販売 | ②今後の販売計画 |
| 11月～ | ①協力企業による店頭での継続販売 | |
| 12月 | ①協力企業『創業祭』での企画商品紹介と販売補助 | |

〈経緯〉

商品を企画するからには多くの方に買っていただきたいという生徒の希望から、一つ一つの商品の値段設定がお手頃でおいしいと評判の地元のお菓子屋さんにも協力を頂くことになった。「薩摩川内市をPRできる商品作り」「女子高生をターゲット」のテーマの元、各自資料を集め商品企画書を作成し、企業への提案を行った。本校の調理室が耐震工事のため使えないため、商品企画書を企業へ提案し、業企業で商品の試作品の開発を進めていただいた。試作品の改良（味や形、食感等）とパッケージ等の作成を行い、本校文化祭での販売を行い、好評であったため継続して協力企業の店頭で継続して販売を行っている。

生徒達は、自ら企画画した商品が継続して店頭においていただけることになり、今回の活動に大変満足している様子であり、後輩達にも継続して活動して欲しいと期待していた。

6. 販売形態・期間

有
・
無

有限会社「かしの樹」（協力業者）の店頭

7. 協力者等

有
・
無

有限会社「かしの樹」

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

協力企業がとても意欲的で協力も熱心にしていただけたので、様々な提案をすることができた。協力企業も思っていなかった新しい商品作りができたことと喜ばれ、また、若い職人達が色々試して試作を作る姿が良かったと、次年度以降も協力したいと話をしていただいている。